

第 31 回廃炉・汚染水対策現地調整会議の概要

1. 日程

日時:平成28年3月30日(水) 9:45-11:45

場所:いわきワシントンホテル 3階「アゼリア C」

2. メンバー

政府: (議長):高木原子力災害現地対策本部長(経済産業副大臣)

後藤原子力災害現地対策副本部長

復興庁:白井次長(福島復興局)

文部科学省:村山放射性廃棄物企画室 企画官

農林水産省東北農政局:上崎地方参事官

農林水産省水産庁:竹葉研究指導課長

国土交通省:小俣河川環境課長

環境省:二村水・環境課長

廃炉・汚染水対策チーム:田中事務局長補佐、尾澤事務局長補佐、

江口対策官、豊口企画官、近藤企画官

廃炉・汚染水対策現地事務所:生越所長、木野参事官、谷田調整官、

小野対策官、朝日対策官

原子力損害賠償・廃炉等支援機構:松永現地事務所長

東京電力:新妻福島復興本社副代表、増田プレジデント、有馬バイスプレジデント、

磯貝福島第一原子力発電所プロジェクト統括管理センター所長

福島県(オブザーバー):酒井主幹

規制当局 原子力規制庁:山田審議官、持丸総括調整官

厚生労働省 福島労働局:久富労働基準部長

3. 結果概要

(1) 議長冒頭挨拶

○年度末の御多忙の中、お集まりいただき感謝申し上げます。

○陸側遮水壁の運用については、本日の原子力規制委員会でも報告がなされる予定と聞いています。近く凍結を開始できる見通しであり、今後安全を確認しながら段階的に運用していくこととなりますが、早期に効果が現れるように着実に進めていきます。

○また、K排水路の付け替え工事が3月28日に完了し、すでに新ルート側への通水が開始されています。

- さらに、中長期ロードマップにおいて2015年度中に完了することとしておりました、「1号機タービン建屋の循環注水ラインからの切り離し」、「敷地境界線量の低減」、「広域フェーシングの9割完了」これらの目標が達成されるなど、着実に対策が進捗しています。
- この他にも、雑固体廃棄物焼却設備の運用開始や1F構内における放射線防護装備の適正化等の進展もありました。本日はそれらの結果について報告を受けたいと思いますので、活発な議論をお願いいたします。

(2) 会議概要 (主な指摘事項)

議題1

<資料1-1>

- ▶ 排水路のサンプリングについて、水が流れている時に加え、水が少ない時であってもサンプリングが実施できるよう、サンプリングの方法を工夫した方が良い。
- ▶ 港湾内の海水サンプリングの結果において、濃度は低下してきている。海側遮水壁の効果が大きいと漁業者からも評価をいただいているので、海側遮水壁の点検を含め引き続き、効果が発揮されるようお願いしたい。

議題5

<資料1-5>

- ▶ 作業前に許可証が受け取れていないなど、初歩的なミスが引き続きある。また、最近12市町村をまわり、“1Fのリスクは着実に下がってきている。”と住民に説明をしているので、1Fの特殊な作業ということに甘えず、今一度しっかりと管理して欲しい。
- ▶ 1Fは落ち着いてきており、このようなミスが直接住民に影響を与えるわけではないが、風評に影響を及ぼすので、今一度慎重に対応すること。また、5年が経ち、作業員も大きく入れ替わっていると考えられる。しっかりと作業の引き継ぎを行うシステムを構築して欲しい。
- ▶ 確認機能が働いていない現場の典型的なミス。確認者が確認すべき事項をしっかりと理解し、自者確認、他者確認を行う役割分担を整理すること。
- ▶ コミュニケーションをしっかりと取り、ヒューマンエラーを減らすこと。

議題9, 10

<資料2>

- ▶ 凍土壁について、本日規制委員会の了承が得られ、本日中にも認可が得られる見込み。水位管理の関係で調整が続いていたが、実際の運用の中でどのような地下水の挙動が生

じるかは明確になっていない。慎重に運用する必要があるとともに、得られたデータを分析し報告を徹底して欲しい。また、緊急時には汚染水をフランジタンクに移送する前提となっているが、このような状況を早急に解消するよう、溶接タンクの確保を行うこと。

- ▶ 凍土壁について、本日認可が得られれば、最終的な準備を行い、明日凍結を開始する予定。
- ▶ 凍土壁により得られる地下水のデータは非常に貴重なもの。これまでの海側遮水壁で得た教訓を踏まえつつ、慎重にかつ前に作業を進めて欲しい。
- ▶ ダスト飛散については、地元住民の帰還の判断に直接影響する。1号機カバー解体についても追加対策を徹底し、慎重に作業を進めるようお願いしたい。また、雑固体廃棄物焼却設備についても、廃棄物の焼却から排ガス管理まで手順をしっかりと守って作業を進めて欲しい。
- ▶ フェーシングの9割達成やK排水路の付け替え完了については、風評被害の軽減を期待できる。港湾内の対策についても漁業者の意見を取り入れた対策を取ってもらい感謝。引き続きお願いしたい。また、トリチウム水の処理について、漁業者は高い関心を持っている。福島県以外も含め、しっかりと方針の説明を行い、理解が得られるようお願いしたい。
- ▶ K, B, C排水路については、ゲートの設置が完了しているが、A排水路, 物揚場排水路についても検討を進めること。

議題 1 1

<その他>

- ▶ 計画通りに、敷地境界 1 mSv / 年未満、フェーシング 9割完了等ができたことは評価したい。
- ▶ 年度末までに様々な進捗が見られた。特に凍土壁については、東電と規制委に感謝したい。運用は丁寧に実施すること。現地調整会議は、長い廃炉作業に向けて、現状を把握し、今後の取組について議論することが趣旨。4月10, 11日にもフォーラムを開いて、OECD/NEAやIAEA等の専門家を集めて廃炉をどのように進めるか議論を行う予定。

(3) 次回以降の日程

○次回は4月開催。詳細の日程は決定次第、事務方より連絡。

(以上)